

## 人権啓発DVD一覧表

連番	登録	題名	ジャンル	時間	内容
1	ケ-1	差別意識の解消に向けて	同和	75分	第1巻(29) 府民向け-人権のまちづくり 第2巻(22) 宅地業者向け-宅地建物取引における土地差別 第3巻(24) 行政職員向け-土地差別問題を考える
2	ジ-1	人権のヒント 地域編 「思い込み」から「思いやり」へ	人権	25分	街の喫茶店「カフェ・ヒューマンライツ」のママのところに、さまざまな思いをいだいた人々が集まってくる。その交流のなかから、「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していく内容。
3	セ-1	ふらっと教室 Vol.3 セクハラ・パワハラ まんがでチェック 職場のハラスメントを考えよう	人権 (セクハラ) (パワハラ)	参加	職場でのセクハラ・パワハラがどのように行われたのかを実際に起きた事例を参考に4コマまんがに仕立てたもの。 ※このCD-ROMは、PCの環境を確認の上ご利用ください。
4	ケ-2	調べられた土地 避けられた地域	同和	20分	～土地差別調査の根絶に向けて～
5	ジ-2	メンタルヘルスと人権 ～あなたの心の声を 聞いていますか～	人権 (労働)	30分	ある商品製造会社で働く30歳の塚は、どこにもいる会社員です。無遅刻無欠勤だった彼が日々の過重な業務とパワー・ハラスメントによって疲れていきます。妻とのありふれた日々にも亀裂が生まれ、やがてうつ病へ、そして回復期から職場復帰まで。うつ病の彼を取り巻く人々、上司・同僚・家族と当事者本人の視点から考える問題提起型ドラマです。
6	ケ-3	言葉で輝く (識字・日本語ドキュメンタリー)	同和	99分	第1巻(34) ～識字は生きる力～ みんなにつたえたい 第2巻(32) ～国際化のなかの識字～ 二つの言葉のはざままで 第3巻(33) ～わたしたちができること～ 最初の一步のために
7	ジ-3	日常の人権Ⅰ 一気づきから行動へ	人権	23分	☆女性の人権 ■ドラマ編 ■ドキュメンタリー編 ☆子どもの人権 ■ドラマ編 ■ドキュメンタリー編 ☆高齢者の人権 ■ドラマ編 ■ドキュメンタリー編
8	ケ-4	楽しいふらっと教室 みんなで考える人権	人権	参加	パソコン上で架空のまちをめぐることにより、あなたの人権度に自然と気づかされるアニメーションゲーム。 ※このCD-ROMは、PCの環境を確認の上ご利用ください。
9	ジ-4	日常の人権Ⅱ 一気づきから行動へ	人権	23分	☆外国人の人権 ■ドラマ編 ■ドキュメンタリー編 ☆障がい者の人権 ■ドラマ編 ■ドキュメンタリー編 ☆部落差別 ■ドラマ編 ■ドキュメンタリー編 ☆インターネットでの人権侵害 ■ドラマ編 ■ドキュメンタリー編
10	ケ-5	ハンセン病問題基本法施行記念 講演と映画のつどい	人権 (ハンセン病)		2009年3月15日に行われた「講演と映画のつどい」での神 美知宏

## 人権啓発DVD一覧表

連番	登録	題名	ジャンル	時間	内容
11	ケ-6	家族からひきはなされて 一みんな考えよう ハンセン病問題一	人権 (ハンセン病)	19分	ハンセン病療養所には、多くの子どもたちがいた。強制隔離収容をうたった「らい予防法」は子どもにも容赦なく適用された。病気が治って何十年もたっているのに、ふるさとや家族のもとに帰れず、年をとってしまった。この事実を歴史と証言からどのように学ぶか。教育現場においてハンセン病問題を考え、活用する教材。
12	ケ-7	拉致 ～許されざる行為～	人権 (拉致)		拉致問題の解決に向けた日本政府の取り組みや、拉致被害者家族会の活動などを紹介し、拉致被害者の早期帰国実現を訴えた作品。
13	ジ-7	おくりびと	人権 (職業)	131分	一見地味で触れ難いイメージの職業をテーマにしながらも、日本映画を代表するスタッフ・キャストがユーモアを絶妙にちりばめて、愛すること生きることを紡ぎだす異色の感動作を誕生させました。人は誰でもいつか、おくりびと、おくれびと一。すべての人に普遍的なテーマを通して、夫婦の愛、わが子への無償の愛、父や母、家族への想い、友情や仕事への矜持などを描き出す本作は、観るものに笑いと涙、そして大きな感動を、必ずや与えてくれることでしょう。
14	ケ-8	アニメ「めぐみ」	人権 (拉致)	25分	昭和52年、当時中学1年生で北朝鮮により拉致された横田めぐみさんの家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いた作品。
15	ジ-8	ネットいじめから子どもを守る 【文部科学省選定】	人権 (教育)	27分	ドラマ形式で描いたネットいじめの事例をもとに、ネットいじめが起こった時の対処法と、加害児童、被害児童、それぞれに対する最良
16	ケ-9	自殺を防ぐ地域力 悩む人々を救うふれあいの輪	人権 (自殺)	23分	自殺予防とうつ対策シリーズ【地域編】
17	ケ-10	こころのサインに気づいたら ～ゲートキーパー養成研修用DVD ～	人権 (自殺)	245分	ゲートキーパーが自殺の危険性がある人をどのように認識し、対応するか、また、初期の支援や、適切な支援への導入をどのように行うかということをメンタルヘルス・ファーストエイドの5ステップに基づいて学びます。(2枚組)
18	ジ-10	逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者	障害者	74分	2011年3月11日の東日本大震災、未曾有の大災害の中障害を持つ人々に何が起きたのか？マスメディアでは、断片的にしか取り上げられない被災地の障害者のさまざまな現実に向ける
19	ケ-11	こころのサインに気づいたら ～ゲートキーパー養成研修用 DVD(被災地対応編)～	人権 (自殺)	152分	・避難所編(36分) ・仮設住宅編(55分) ・知人・友人編(34分) ・アルコール依存編(27分)
20	ケ-12	こころのサインに気づいたら ～ゲートキーパー養成研修用 DVD(地域対応編・心得編)～	人権 (自殺)	144分	・保健師編(34分) ・訪問介護職員編(20分) ・窓口職員・住民編(23分) ・民生員編(27分) ・児童委員編(24分) ・ゲートキーパー心得編(16分)

## 人権啓発DVD一覧表

連番	登録	題名	ジャンル	時間	内容
21	ケ-13	こころのサインに気づいたら ～ゲートキーパー養成研修用 DVD（講義編・資料編）～	人権 (自殺)	91分	・自殺対策とゲートキーパーの役割 ・悩んでいる人にどう向き合うか ～メンタルヘルス・ファーストエイド～ ・ゲートキーパー養成研修の実施 ～プログラムキットの使い方～
22	ケ-14	これって愛なの？	人権 (DV)		デートDV朗読劇
23	ケ-15	それぞれの朝	人権 (自殺)		自殺予防朗読劇
24	ケ-16	一人ひとりの世界人権宣言	人権 (国際)	109分	世界人権宣言とは、人権に関する世界の共通理解。「いつでも、どこでも、誰でも、同じように」守られる権利や自由を宣言している。「移動・居住の自由を考える」、「社会保障を考える」、「障がいのある人の権利を考える」というテーマで構成されている。(2枚組)
25	ケ-17	人権学習ドラマ 「ありったけの勇氣」	人権 (教育)	27分	「いじめはやめよう！」と言える勇氣を子どもたちに伝えたい。このドラマでは、友達との関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互いに認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇氣の大切さを伝える。
26	ケ-18	未来を拓く5つの扉	人権 (教育)	46分	全国中学生人権作文コンテストでは、次代を担う中学生が、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えています。このビデオでは、入選作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介します。中学生が作文の中でつぶやいている言葉に、あなたも耳を傾けてみてください。それが、きっと、新しい明日への一歩につながっていくでしょう。
27	ケ-19	あなたが あなたらしく 生きるために	人権 (教育)	30分	性・セクシュアルはとても多様です。しかし、それをしっかり理解している人はごくわずかでしょう。そのため、性的マイノリティの多くが、生きづらさを感じています。誰もがありのままに受け入れられ自分らしく生きたいと望んでいます。そんな社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。この教材は、性的マイノリティについて人権の視点で理解を深めるのがねらいです。性的マイノリティの入門編としてご利用ください。
28	ケ-20	同和問題 ～過去からの証言、 未来からの提言～	同和	61分 19分	この教材は、我が国固有の人権問題である同和問題に焦点をあて、国や地方公共団体、企業等のさまざまな団体における人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。また、一般市民を対象とした、啓発現場において使用できる有効なツールとしての映像も併せて制作し、同和問題の解決のために次世代へ伝承するものです。 ・人権教育、啓発担当者向け（61分） ・一般向け（19分）

## 人権啓発DVD一覧表

連番	登録	題名	ジャンル	時間	内容
29	ケ- 21	人権 ON CD-ROM (同和問題)	同和		大阪市では、パソコンとの双方向での対話による学習が可能な文字、画像、映像、音声を駆使したマルチメディアによる啓発・教育・研修プログラム「人権 ON CD-ROM」を企画し、その第1作目として「同和問題」を内容とするCD-ROMを制作しました。同和問題の基本的な事項についての解説に加え、新聞記事や意識調査結果などのさまざまな具体的な関連資料を取っています。利用者は自ら画面を選択して主体的に学習できるようになっており、またCD-ROMの特性を活かし、参照したい場所へ縦横にジャンプできるように工夫しています。 (大阪市民局人権部人権啓発課)
30	ケ- 22	すべての人々の幸せを願って ～国際的視点から考える人権～	人権 (国際)	35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国連の人権への取り組み (世界人権宣言と国際人権諸条約)</li> <li>・ 女性の人権 (女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約)</li> <li>・ 障がいのある人の人権 (障がい者の権利に関する条約)</li> <li>・ 外国人の人権 (あらゆる形態の人種差別の撤廃に関する国際条約)</li> </ul>
31	ケ- 23	ハンセン病問題 ～過去からの証言、 未来への提言～  家族で考えるハンセン病	人権 (ハンセン病)	56分 20分	この教材は、ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身につけておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。また、広く一般市民を対象とした啓発現場においても使用できる有効なツールとなる映像も併せて制作し、次世代へ伝承しようとするものです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権教育、啓発担当者向け (56分)</li> <li>・ 一般向け (20分)</li> </ul>
32	ケ- 24	もずやんのResucue Kit ～危険から子どもを守るDVD～	人権 (教育)	114分	子どもたちが、日常生活の中で遭遇するおそれがある危険に関する情報を映像化してまとめたものです。子どもたちの力を信じ、子どもの力を伸ばすことが、子どもの安全・安心につながります。子どもたちに危険から身を守るためのスキルを身につけてもらうためにも、学校でこのDVDを活用してください。(大阪府発行)
33	ケ- 25	外国人と人権 ～違いを認め、共に生きる～	人権 (外国人)	33分	外国人に関する人権問題をドラマや開設で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考えるものです。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことを問われているのかを考えます。

## 人権啓発DVD一覧表

連番	登録	題名	ジャンル	時間	内容
34	ケ- 26	インターネットと人権 ～加害者にも被害者にもならないために～	人権 (インターネット)	30分	インターネットは、私たちの生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものになっています。しかし一方で、インターネット上の人権やプライバシーの侵害につながる行為は後を絶たず、近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットとした犯罪が大きな社会問題となっています。また、インターネットに関する知識や意識が十分でない中学生や高校生は、被害者になるだけではなく、意図せず加害者にもなることも少なくありません。本DVDは主に中高生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策について、わかりやすくまとめています。
35	ケ- 27	私たちが伝えたい、大切なこと～アニメで見る 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品～	人権	31分	このDVDでは、「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品に基づいて制作されました。どの作品も、日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描いています。入賞作品を原作とした3つのアニメーションを通して、「人権ってなんだろう」と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的としています。
36	ケ- 28	身近な人権問題 人権は小さな気づきから	人権	34分	心の奥に潜む差別心に気づく！人権は心の問題であり、命の問題です。一人ひとりが人権に対する意識を少しずつ持つ事で、救える命もあります。本作品は、身近な人権問題に気づき、普段の生活の中で人権問題を意識させるために問いかけ、考えさせる教材です。地域社会や学校、職場での人権問題学習用教材としてご活用ください。
37	ケ- 29	考えよう！ハラスメントVol. 2 LGBTを知ろう	人権 (LGBT)	20分	LGBTの人たちを取り巻く現状を理解し、職場や教育現場でどのように具体的に取り組んでいけばよいのかを、イラストやデータ、事例などを豊富に盛り込んでわかりやすく解説しています。
38	ケ- 30	国及び地方公共団体の責務とは～らい予防法と無らい県運動～	人権 (ハンセン病)	52分	「らい予防法」のもとで、戦前・戦後と続いた「無らい県運動」。国の指導のもと、ハンセン病隔離政策で地方公共団体が果たしてきた役割と責任は大きい。残された行政資料とハンセン病回復者と家族の証言から国・地方公共団体が何をしてきたのかを明らかにし、国及び地方公共団体が早急に取り組むべき課題について考えます。
39	ケ- 31	部落史学習DVDシリーズ (芸能と文化編)	同和	146分	①「被差別部落の芸能と文化」(43分) 鳥取市の円通寺地区で傳承されている円通寺人形芝居、太鼓の町として知られる渡辺村の太鼓づくり、被差別部落が食文化に果たした役割について紹介しています。②「職人の技」(103分) 部落の生活を支えたさまざまな産業・仕事に長年たずさわってきた職人が仕事の中で身につけた技をみるとともに、語りを通して生活と部落の産業について紹介しています。

## 人権啓発DVD一覧表

連番	登録	題名	ジャンル	時間	内容
40	ケ- 32	部落史学習DVDシリーズ (身分と生業編)	同和	91分	①「近世身分制社会と被差別民～役目と生業～」(52分) 前近代(中世、近世)の身分及び近世身分制社会のあり方を城下町・大坂の形成からみるとともに、被差別民の果たした役目と生業について説明しています。②「皮革と被差別部落」(39分) 近世から近現代にかけて、身分制社会の役目として皮革上納をおこなっていた部落の歴史と近代以降に部落産業として発展してきた皮革業について解説。また白なめし革づくり、手縫い靴づくりを長年たずさわってきた職人の技を紹介しています。
41	ケ- 33	部落史学習DVDシリーズ (歴史編)	同和	71分	①「近代日本社会と部落問題」(46分) 1871年の「解放令」は、「四民平等」の社会を実現しようとしたが、あたらしい価値観や秩序のもとで、部落差別は再生産され続けました。部落の人びとが主体となり、反差別の思想を打ち出して立ち上がった運動を紹介しています。②「よき日のために～全国水平社80年の闘いに学ぶ～」(25分) 燕会の結成から全国水平社の創立に至る過程や1922年に創立した全国水平社の運動の広がりについて資料を中心に紹介します。また水平社が闘った各地での差別糾弾闘争と生活擁護闘争について紹介しています。
42	ケ- 34	ともに生きる私たちの未来「部落差別解消推進法」がめざすもの	同和	38分	2016年12月、部落差別の解消を目的とした「部落差別解消推進法」が施行されました。この作品では、「部落差別解消推進法」ができた背景の現実社会とネット上で起きている新たな差別実態を明らかにする一方で、被差別部落にルーツを持つことに誇りと自信を持って活動する若者たちを紹介しています。この二つの視点から、ネット社会の中で新たな局面を迎えている「部落問題」について考え、「ともに生きる社会」をどう実現していくのか、私たち一人ひとりに問いかけていきます。
43	ケ- 35	気づいて一歩ふみだすための 人権シリーズ5 お互いの本当が伝わる時～障害者～	障害者	24分	雇用分野に関して改正障害者雇用促進法が、雇用以外の分野に関して障害者差別解消法がそれぞれ施行され、事業者・事業主に対して、障害者に対する「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供義務」が定められました。「障害のある人をどう手助けすればいいのかわからない」という声をよく耳にします。この作品では障害のある人が、どんな場面で困っているのか、どんな「バリア」があるのかなどの具体例を挙げ、それをどう取り除いていけばいいのか、また障害のある人から発信することの重要性を示しています。
44	ケ- 36	障害のある人と人権 誰もが住みよい社会をつくるために	障害者	33分	障害のある人もない人も誰もが住みよい社会をつくるためにはどうしたらよいのでしょうか？このDVDでは、障害のある人が直面する人権問題や心のバリアフリーの実現に向けた取組などを紹介し、「障害のある人と人権」について考えていきます。
45	ケ-37	被爆体験の語り部が伝えるもの	人権 (平和)	38分	茨木市原爆被害者の会の語り部が自らの被爆体験を語っています。未来ある若い世代に語り継いで行きたい。できれば生の声を子どもたちに聞いて欲しい。語り部自身の時間はあまり残されていない中で一人でも多くの子どものために記憶を伝えたい。…語り部の生の声を聞いてください。

## 人権啓発DVD一覧表

連番	登録	題名	ジャンル	時間	内容
46	ケ-38	わたしらしく あなたらしく -多様な性を生きる-	人権 (LGBT)	38分	映像で取り上げた「一橋大学アウティング事件」は2015年6月、一橋大学法科大学院の男子学生が同級生約10名によるグループLINE(ライン)に同性愛者だと書き込まれたことで心身に不調をきたし、同年8月、校舎から転落死した事件です。この事件を通して誰もが生きやすい社会について考えてみましょう。